

開催日時 : 平成25年7月25日(水) 午後7時30分から 8時15分まで

開催場所 : 京都府京丹後市峰山町丹波825番地の1
NPO法人京丹後コミュニティ放送 1階事務所内

委員の出席 : 委員総数 8名

出席委員数 : 6名

欠席委員数 : 2名

放送事業者 : 2名

側出席者

・開会

局長挨拶

1、番組審議

・議題

番組審議

番組名「ラジオ蟹式」

平成25年7月23日(火) 午後8時~9時

出演: 平井 勇太、荻 弦太、ゲストMC

内容: 京丹後市出身の2人がメインパーソナリティを努め、毎回ゲストMCの持ち込んだ企画を元にトークを繰り広げる。

ゲストMCは京丹後市外出身のミュージシャン、元芸人の小説家など、特に若年層・青年層の感性に呼びかけるような刺激的でユーモアに富んだ内容・情報を発信し、京丹後市に元気を与えられるような内容の番組を目指す。

・閉会、会長挨拶

内容

・委員からの主な意見として

インパクトがなく、2、3人が喫茶店等で話をしているような雰囲気にとれた。

同年代が聴いても、若干しゃべりが早い。同じトーンでしゃべっておられないので、聴きとりにくい所があると感じられた。

言葉と言葉の繋ぎであったり、語尾がマイクに入っていないのが気になった。

外部の情報を紹介するのがよいかかわからないが、京丹後市以外の人たちに、丹後あるあるを教えてあげるみたいな企画なら面白いかなと思った。

SNS の使い方がちょっとよくわからなかった。どう言う風に絡めばいいのか。

生放送ではないですし。

Twitter、Facebook などのアドレス紹介は特にゆっくり、2回繰り返して伝える方がよいのでは。1回では聴き取れない。

実際 on air 中に投稿してもいいのか。でも隔週放送だし、それがどういう風に反映されるか、生放送ではないので面白みにかける。

ラジオはあまり考えずに聴けるものかなと思うのですが、ちょっと何を言っているのか、真剣に聴こうと思わないといけない内容だったと思いました。

BGM もなく、TV よりも集中して聴かないといけない感じがしました。ラジオなのでもっと気楽に聴ける内容がよい。

年代が違うせいもあり、企画内容に関しても受け取り方が難しい。

ラジオと言うのは、見たり触れたりできない分声が聴こえてくる中で、自分の頭の中で想像していかないといけない媒体だと思うが、今回聴かせていただいた内容では、何も頭の中で想像できなかった。

そういう意味では、聴いている側のインパクトは低いと思う。企画内容もまだまだ手探りだとは思いますが。

声がどれが誰だかわからない。誰がしゃべったのかわからないので、余計に頭に入ってこなかった。

SNS の使い方として、あまりタイムラグがない使い方をしていかないと、本来のよさがでないので、工夫をしていただきたい。

リスナーからの投稿に対して、何か返せることができればよいが、投稿したのにそれだけでは、興味が半減してしまう。

SNS の面白いところは、えっ!!て思えるところでもあり、2週に1回であれ広がっていったほうがよいのでは。

これから作り上げていく番組だという意気込みは感じました。

とても楽しそうにトークをしている雰囲気は伝わるが、中身が解り難かった。

年代が違っても、今の若い人はこんな考えをもっているのが伝わるような番組であればいいですね。

以上意見有（抜粋）

審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特になし

審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、放送及び年月日

- ① 当局事務所内に掲示
- ② 当局ホームページ <http://fm-tango.jp/> に掲載

その他参考事項

特になし